

■しずだい産学連携メールマガジンVol.111

2017年3月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、工学部の桑原 不二郎先生です。

◆◆ CONTENTS ◆◆

1. 「静岡大学市民開放授業事前説明会（2017年度前学期）」のご案内
2. 「地震津波シンポジウム
東海・南海巨大地震を考える in SHIMIZU」のご案内
3. 「静岡ものづくり未来応援団 講演会/交流会/製品展示会」のご案内
4. 「BIO tech 2017 アカデミック フォーラム」に出展します
5. 「静岡大学との共同研究に関するアンケート」ご協力の御礼

1. 静岡大学市民開放授業事前説明会（2017年度前学期）のご案内

市民開放授業とは静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。
単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

事前説明会では、募集要項や授業内容（シラバス）を配布するほか、市民開放授業の概要や受講手続き、附属図書館の利用方法などの説明を行います。
事前説明会への申し込みは不要です。直接会場へお越しください。
事前説明会に参加されなくても、市民開放授業は受講できます。
お越しになれない方は、静岡大学イノベーション社会連携推進機構までご連絡ください。折り返し必要書類をお送りいたします。

【日時】 2017年3月23日（木）14：00～15：30
【会場】 [浜松会場] 浜松キャンパスイノベーション社会連携推進機構棟 カンファレンスルーム
[静岡会場] 静岡キャンパス事務局別館1階
※遠隔テレビシステムで2会場を結んで実施

【申込先】 事前申込不要です。会場に直接お越しください。
【その他】 事前説明会にお越しになれない方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。折り返し必要書類をお送りします。

【問合せ】 イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門
TEL:054-238-4817 [平日9：30～16：30]
FAX:054-238-4295
E-mail：LCC[at]ipc.shizuoka.ac.jp

2. 地震津波シンポジウム

「東海・南海巨大地震を考えるin SHIMIZU」のご案内

本シンポジウムは、迫り来る東海・南海地震に備えて、現在行われている最新の地震研究の現状を紹介し、防災意識を高めてもらうことを目的とします。また、東日本大震災の震災遺構のデジタルアーカイブ画像、海洋研究開発機構(JAMSTEC)の活動の展示も同時に行います。

【日 時】2017年3月25日(土) 13:00~17:00

【場 所】静岡市清水区 清水テルサ
(〒424-0823 静岡市清水区島崎町223)

□■プログラム■□

- 13:30 開会の挨拶 北村晃寿(静岡大学)
来賓の挨拶 畠山和純(全国津波議連会長)
来賓の挨拶 難波喬司(静岡県副知事)
- 13:50 古地震・津波研究からみた東日本大震災 菅原大助
(ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- 14:15 「ちきゅう」による深海掘削で明らかになった東北沖地震・巨大津波発生
のメカニズム 氏家恒太郎(筑波大学)
- 14:55 津波堆積物層の発掘調査から戦国時代の津波災害を想定する
金子浩之(伊東市史編さん室市史編さん担当主幹)
- 15:20 静岡県のレベル2と1、そして1.5の地震・津波
北村晃寿(静岡大学)
- 15:45 水・ガス・電気を自家供給する災害時地域防災拠点の創成
木村浩之(静岡大学)
- 16:10 静岡県の地震・津波対策 鈴木 亨(静岡県危機管理部)
- 16:50 閉会の挨拶 静岡大学防災総合センター長 増田俊明

【震災遺構3D展示会】 10:00~16:30

【海洋研究開発機構(JAMSTEC)の活動の展示】 10:00~16:30

【問合先】静岡大学大学院理学研究科地球科学専攻・防災総合センター
担当:北村晃寿
TEL: 054-238-4798(ダイヤルイン) FAX: 054-238-0491

3. 「静岡ものづくり未来応援団 講演会/交流会/製品展示会」のご案内

「静岡ものづくり未来応援団」の総会に引き続き、記念講演会/製品展示会/交流会を実施いたします。皆さま方の製品や技術、様々な試みを展示いただき、参加者の方にご紹介する機会としたいと思います。是非、貴社の自慢をご展示賜りますよう、よろしく申し上げます。

【日時】2017年4月27日（木）13：30～18：00
【会場】ツインメッセ静岡（静岡市駿河区曲金3-1-10）
◇総会・講演会 北館4階レセプションホール
◇展示会・交流会 北館3階小展示場

【申込先】下記をご記載の上、FAXまたはE-mailにてお申込みください。
ご出展をご希望いただく場合は、展示内容をご記入ください。

会社名・団体名/ご出席者名/ご連絡先（tel・E-mail）/ご同伴者
総会陪席の有無/交流会参加の有無
※展示をご希望の場合は、展示内容を記載
（基本ブース：長机、椅子4脚、背面パーティション+社名板）

□■プログラム■□

13：30～14：00 静岡ものづくり未来応援団 総会
14：00～15：00 記念講演会
株式会社リバナス 代表取締役CEO 丸 幸宏 様
15：00～16：30 企業事例紹介（予定）
株式会社エステック・先生精機株式会社
15：00～18：00 製品展示会/情報交換会（交流会）

【主催】「静岡ものづくり未来応援団」、静岡新聞社・静岡放送

【問合せ先】「静岡ものづくり未来応援団」事務局 静岡新聞社・静岡放送
営業局企画推進部 担当：三須、畠山
TEL:054-281-9009
FAX:054-284-9031
E-mail:info[at]shizutech.com

4. 「BIO tech 2017 アカデミック フォーラム」に出展します

アカデミックフォーラムに静大教員3名が出展します。
アカデミックフォーラム（創薬・医療・バイオ 研究発表大会）は、大学・国公立
研究所の研究者が、口頭発表やポスター展示を通して、バイオ研究の成果発表を
行う場です。

来場者と発表者の間で、共同研究・技術移転・ライセンスに関する打ち合わせ
が多数行われるなど、大学－企業間を中心とした実質的な産学連携・パートナーリング
案件が多数生まれています。
ぜひご来場ください。

【日時】2017年6月28日（水）～6月30日（金）
【場所】東京ビッグサイト

【静岡大学の出展・発表内容】

大学院 総合科学技術研究科 農学専攻 准教授 与語 圭一郎
発表タイトル: 雄の生殖能に重要なSLCトランスポーターの同定

大学院 総合科学技術研究科 工学専攻 准教授 鳴海 哲夫
発表タイトル: キノリニウム型光感受性保護基の創製とケージド神経伝達物質
への応用

大学院 総合科学技術研究科 情報学専攻 准教授 荒木 由布子
発表タイトル: MRIデータに基づくアルツハイマー病早期発見のための統計的モデリング

【詳細】 <http://www.bio-t.jp/Academia/About/>
【問合せ先】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL : 053-478-1702
FAX : 053-478-1711

5. 『静岡大学との共同研究に関するアンケート』 ご協力の御礼

平成29年2月3日(金)から3月10日(金)の間で実施しました
『静岡大学との共同研究に関するアンケート』
につきましては、多数のご回答を頂き、誠に有難うございました。

静岡大学では、地方総合大学として、地域活性化の中核拠点となり地域に貢献するとともに、光応用工学分野をはじめとする最先端の強み・特色のある研究分野を重点的に推進し、世界・全国的な教育研究拠点を目指すこととしています。

皆様からいただいた貴重なご意見を生かして、今後も更に産学連携を推し進めていく所存ですので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

《 みんなのコラム -105- 》

記：工学部機械工学科 教授 桑原 不二郎

私たちは、熱流動現象にかかわる研究活動を行ってきた。特に多孔質体内の複雑熱流動場を工学的に取り扱いやすい巨視的モデル式で表現し、そこに現れる巨視的モデル係数を多孔質構造体まわりの熱流動場に注目した微視的数値シミュレーション結果より算出する体積平均理論の発展にかかわってきた。ご存じのとおり熱移動現象は物質移動現象と強い相似性があるため、巨視的モデル式は熱工学のみでなく化学工学の多くの問題に対しても有効となる。また、ふく射や相変化を伴わない熱流動場には相似則が成立する 경우가少なくなく、産業分野で特に問題となるコンパクト化への取り組みが容易である。

共同研究において、体積平均理論などのこれまでの研究成果を、工学的に発展する形で
ページ(4)

成立する場合も多いが、実際の工業製品内に起きる熱問題を提示いただきそれを解決する方向性を伝熱工学的視点より見出す場合が少なくない。熱問題を難しくする要因の一つは、熱移動が見えないところである。実際にどこに不具合が生じどんな現象が起きているのかを可視化することそのものが、共同研究の成果の一つとなることもある。様々な手法を駆使し現場、温度場を実験的、数値解析的に可視化を行うことで問題の本質を発見できれば、企業側、研究者側に共通な取り組むべきテーマも見出すことが可能となる。これにより、一つの工業製品の性能向上という狭い成果にとどまらず、研究者としても新たな研究展開のチャンスを見つけ出すことができることもある。

工業分野で起こる大小さまざまな熱問題を提示いただき、それを可視化し見極めることで解決していく過程は大変有意義である。今後も皆様のより多くの熱問題の難問を提示していただくことで、私たち研究者へのご協力ご支援をお願いしたい。

<< 編集後記 >>

先日、平成28年度「静岡大学産学連携奨励賞」「はましん産学連携大賞」の表彰式を開催いたしました。

例年と同様、産学連携の観点から、産業界からの期待度、産学連携に対する取組み姿勢について優れており、今後の発展が期待される静岡大学の研究者へ贈られます。受賞されましたのは、最優秀賞に工学部の二川 雅登先生、優秀賞に農学部の茶山 和敏先生です。

また、浜松信用金庫様に平成21年に本学の産学連携表彰の趣旨に賛同いただき創設された「はましん産学連携大賞」は特に地域の産学連携に貢献した研究者として工学部の井上翼先生に授与されました。

受賞された先生方の、今後の活躍を期待するとともに、静岡大学の産学連携のより一層の発展を願います。

【28年度受賞者をご紹介】

■静岡大学産学連携奨励賞

・最優秀賞 二川 雅登 准教授 (学術院工学領域 電気電子工学系列)
「農業・防災のための小型マルチモーダルセンサに関する研究」

・優秀賞 茶山 和敏 准教授 (学術院農学領域 応用生物化学系列)
「食品成分でメタボリックシンドロームを予防する研究」

■「はましん産学連携大賞」

井上 翼 准教授 (学術院工学領域 電子物質科学系列)
「紡績性カーボンナノチューブによる事業化に向けた研究」

しずだい産学連携メールマガジンVol111

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：宮下真紀子
発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1703
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

Copyright (c) 2008-2016
Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved